

## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当を行う場合）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（お問い合わせ先） （郵便物送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱場所及び同取次所
公告方法	日本経済新聞

### 【お知らせ】

#### ●株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記の株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部）  
0120-684-479（大阪証券代行部）

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 昭文社

株式会社 昭文社（証券コード No.9475）

〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1 TEL03-3556-8111（代表）

ホームページアドレス <http://www.mapple.co.jp/>

# 第49期 年次報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日



株式会社

昭文社

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第49期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期の出版業界におきましては、販売額は書籍・雑誌ともに前年実績を下回り、雑誌においては10年連続の落ち込みとなり長期下落に歯止めがかからない状況となっております。返品率においても悪化しており、全体として厳しい状況が続いております。

また電子地図市場におきましては、景気回復に伴う民間企業の需要拡大が期待されながらも、受注競争の激化や価格競争等の厳しい状況が続いておりますが、通信業界における第三代携帯電話への移行やブロードバンド化により、インターネット関連産業での需要は増加してきております。

このような環境のもと、当社グループにおける当期の業績は、以下の通りとなっております。

出版事業では、カーナビやインターネットの影響により低迷した状況が続いておりますが、出版事業における売上を確保すべく新ジャンル商品の積極的出版や市場シェアの拡大、消費者の購買意欲喚起のための書店店頭での各種フェアの開催等を実施してまいりました。また、第4四半期には女性の声を反

映した国内ガイドブック『ことりっぷ』32点も出版いたしました。しかし、前期末に出版した改訂版『たびまる』の入替返品や多数出版した新ジャンル商品の返品が予想以上に早い時期に発生するとともに、書店店頭における実売の低下により市場在庫が増加し、新年版出版時における旧年版の返品が前期に比べ大幅に増加する結果となり、売上高は135億11百万円（前期比14億39百万円、9.6%の減少）と前期実績に対して大きく減少いたしました。利益面におきましても、返品増加や新ジャンル商品出版における原価率の高騰、長期在庫に対するの評価減、データベースの強化・充実による償却費・メンテナンス費用負担の増加、当期より開始した「宿泊予約事業」に関連した出版物のプロモーション活動のための経費増加もあり、出版事業においては営業損失が1億2百万円（前期は営業利益17億95百万円）となりました。

電子事業では、前期に引き続き民間企業における企業内GIS（地理情報システム）の導入が増加し当社コンテンツの提供の機会が増えるとともに、提供先における有料サービス等も好調に拡大いたしました。また『ちず丸ASP』サービスにおきましても多くの新規契約を獲得するとともに、新たに構築した

『地番データ』『家形データ』の引き合いも多く、大型案件の獲得も実現し前期実績に対して大幅に伸びることができましたが、期末に予定していた大型案件の売上が確保できなかったことや新規事業である「宿泊予約事業」の売上が低迷したこと、「ローカル広告事業」における売上が確保できなかったこと等により売上高は伸び悩む結果となりました。これにより当期における電子事業の売上高は41億80百万円（前期比5億37百万円、14.7%の増加）となりました。利益面におきましては、データベース償却費・メンテナンス費の増加、新鮮なデータ提供のための販売用データ作成費用の増加、主にカーナビにおいて利用するネットワークデータの強化のための費用増加等、今後の電子事業拡大のための費用が先行したことや、前期において設立した新規事業を展開する子会社において売上を確保するまでの初期費用（研究開発費等）が発生し営業費用が大幅に増加いたしました。また新規事業である「宿泊予約事業」を展開するための当社運営の観光&旅行情報サイト『まっぶるnet』の大リニューアル等も積極的に行ったことなどにより当期における電子事業の営業損失は1億9百万円（前期は営業利益1億96百万円）となりました。

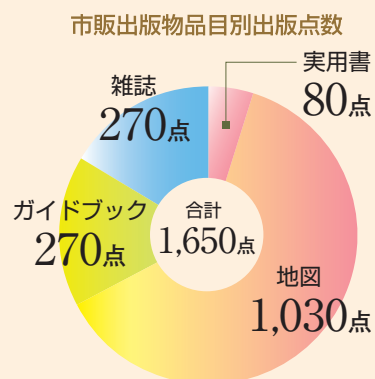
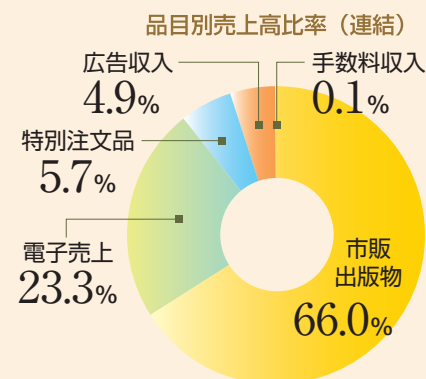


代表取締役社長

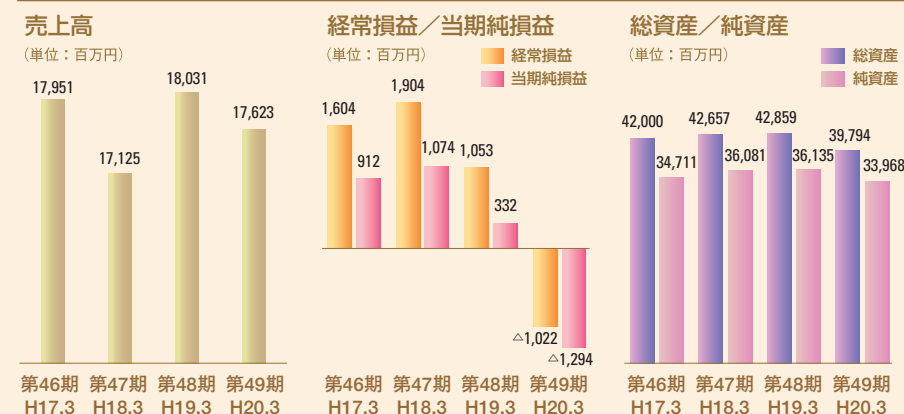
黒田 茂夫

この結果、全社の連結売上高は176億23百万円（前期比4億8百万円、2.3%の減少）、経常損失が10億22百万円（前期は経常利益10億53百万円）、当期純損失が12億94百万円（前期は当期純利益3億32百万円）となりました。

来期はさらに積極的に電子事業に経営資源を投入し、株主の皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって業務に精励する所存です。なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

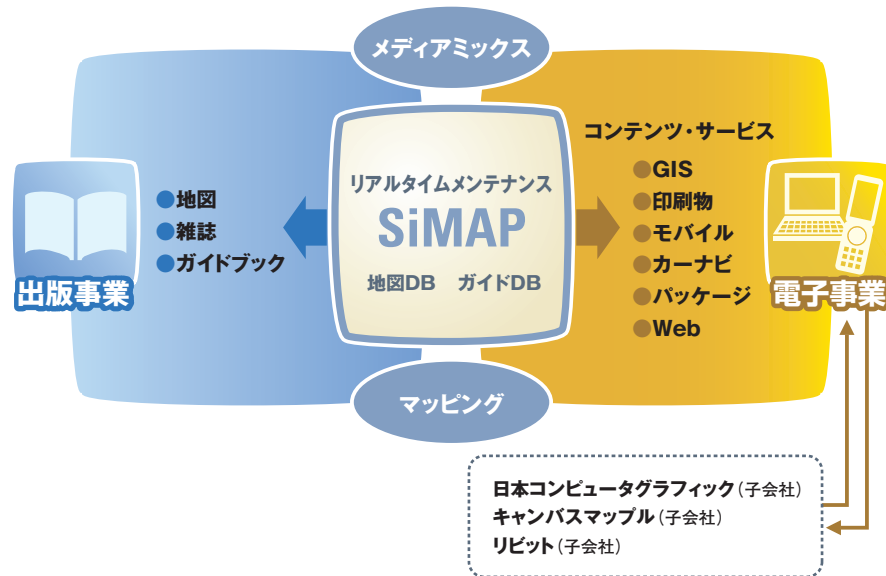


## 業績の推移（連結）



# 事業への取り組み

## ■ SiMAP ワールド



## 出版事業の状況

当期の出版事業は、業界全体の低迷に加え一般消費の落ち込みなど厳しい環境のなか、よりテーマを絞った地図・ガイドブックを積極的に刊行するとともに、営業・販売面でも新たな戦略を展開しました。

とりわけガイドブックにおいては、前期にシリーズ全巻の一挙改訂を行った国内ガイドブック『たびまる』が引き続き好調に売上を伸ばすとともに、平成20年2月に2泊3日の小旅行を提案した女性向けの国内旅行ガイドブック『ことりっぷ』32点（全38点）を一挙刊行し好評を博しております。

また、海外翻訳本では、全12巻からなるビジュアル大図鑑『insiders（インサイダー）ビジュアル博物館』の発売を開始しました。『insiders』は、限定一部を全巻一括予約による販売のみとし、商品を書店の店頭に並べずチラシ及びパンフレット等による営業・販売を展開するなど、これまでに類のない試みを展開しました。

さらに、平成19年6月に、前期に創刊した月刊旅行情報誌『たびえる』の東海版、関西版をリニューアルし、関東・首都圏版をラインナップに加えたのを機に、同誌を介したクロスメディア型の宿泊予約サービスを開始しています。

## 電子事業の状況

当期の電子事業は、コンテンツ整備・体制強化などの、当社がここ数年積極的に行ってきた先行投資が奏功し、前期に引き続き好調に推移しました。

法人向けビジネスでは、Web上での地図表示及び地図検索・周辺情報提供に対するニーズの高まりにより、『ちず丸ASP』『MAPPLEガイドデータ』等の売上が増大しました。

個人向けサービスでは、PC用地図ソフト「Super Mapple Digital」において様々な新コンテンツを収録したバージョンアップを行ったほか、Webサイト「まっぷるnet」、携帯公式サイト「ちず丸」（4キャリア対応）をリニューアルするなど、精力的にサービスの拡大を行いました。

一方、電子事業の発展・拡大のため、制作、営業両面で人員を増やすとともに、営業部を2部制にするなど社内体制の強化やグループ体制の整備にも積極的に取り組みました。

また、平成20年1月にはキャンバスマップル株式会社を、同年4月にはマッピング、インターネット配信技術を保有する日本コンピュータグラフィック株式会社を100%子会社としました。今後は、既に100%子会社であるローカル広告ビジネスを展開する株式会社リビットとともに、グループ内でのシナジー効果を高めるとともに、リソースの効率化を図り、宿泊事業を含めたWeb事業、カーナビゲーション事業、法人向けのソリューション事業、入力事業の積極的な展開をしてまいります。

## 経営の基本方針

当社は創業以来、「地図をベースに限りない挑戦により変化の時代を拓き、社会に貢献する」という経営理念のもと、顧客のニーズに応えた最高の地図をつくり、もっとも信頼される新鮮な情報と出版物を提供することに邁進してまいりました。

また、「革新を追求」という社是を実践し、今日の地図・旅行ガイドブックを中心とした出版事業を確立してまいりました。

今後も、変化の激しい社会環境のなかで多様化する利用者の要請に応えるとともに、製品の利便性を追求し、よりタイムリーで高品質な製品づくりに取り組むことはもとより、情報の提供形態も出版物にとどまらず、当社のSiMAP（サイマップ：昭文社統合地図情報システム）の地図・ガイドデータベースをもとに電子事業分野への積極的な事業展開を図り、「情報社会の一翼を担う企業」を目指すことを基本方針としてまいります。



## 今期の主な出版物

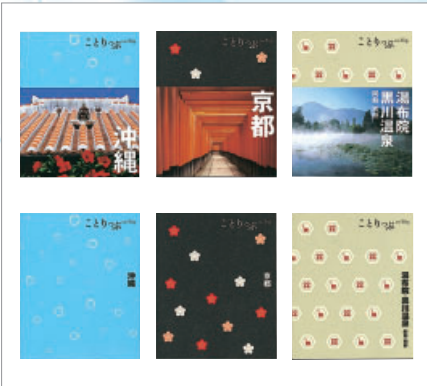
女性向けに2泊3日の“ち～さな旅”を提案  
“軽くておしゃれ”な国内旅行ガイド『ことりっぷ』一挙32点刊行

平成20年2月、国内旅行ガイドブックの新シリーズとして『ことりっぷ』を一挙32点（全38点）刊行しました。数多くの女性の声を反映した本ガイドブックは、おしゃれで使いやすいガイドブックとの評価を得て発売以来順調に売上を伸ばしています。

『ことりっぷ』は無駄な情報を廃し、本当にオススメできるお店や宿、スポットを厳選し、交通手段も最も便利な方法に絞って紹介しています。

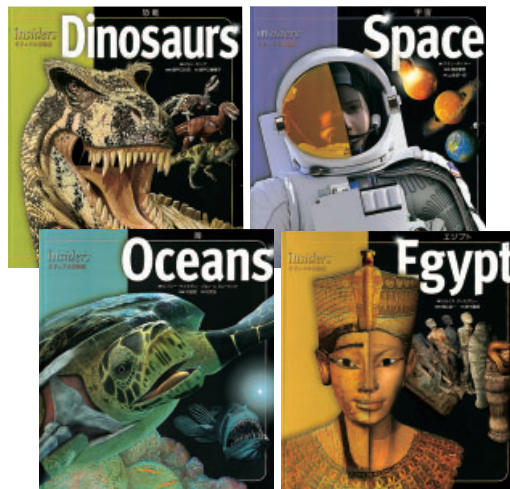
また、携帯性を高めるためにA5変型サイズを採用したほか、1冊平均150グラムと用紙の軽量化を図りました。表紙デザインにもこだわり、旅行ガイドとは思えない「着物柄」を採用することで、おしゃれとかわいさを演出しています。

※『ことりっぷ』とは、小（コ）+旅（トリップ）の造語です。



## 1万セットの限定発売

## ビジュアル大図鑑『insiders（インサイダー）ビジュアル博物館』



翻訳本としてWeldon Owen社のビジュアル大図鑑『insiders（インサイダー）ビジュアル博物館』を、平成19年12月に配本開始しました。

本図鑑は、立体的かつリアルなビジュアル、及び解説で構成され、歴史・考古学、自然、生物・生命、技術の分野から1テーマを取り上げて1冊にまとめています。1冊あたり64ページで、全12巻のセット販売となっています。

出版社にとっては返品が利益圧迫の大きな問題となっていますが、本図鑑は完全セット販売とし、返品を発生させないための販売戦略を採用しました。また、販売方法も書店に商品を陳列せず、チラシ及びパンフレット、束見本のみを配置して予約を取るといった新しい試みを展開しています。

コンテンツ整備など積極的な先行投資が結果  
SiMAPの活用によるソリューションビジネスが順調に推移◎Web上の地図へのニーズが増大  
約200社が「ちず丸ASP」を採用

Web上の検索・ポータルサイトでは、コンテンツのひとつとして地図検索が脚光を浴びています。また、企業のWebサイトでも本支店や営業所、店舗の検索が広く普及してきています。こうした環境を追い風に、当社の地図ASPサービス『ちず丸ASP』も順調に売上を伸ばし、採用企業数は、4年前の約60社から当期は約200社へと着実に成長を遂げています。

市場の拡大とともに競争の激化も進んでいます。当社は地図出版で培ってきた地図自体の意匠や情報をデジタル地図に反映させていることから、紙の地図に馴染んできたユーザーも受け入れやすく、各企業様からも信頼を獲得しています。また、更新やメンテナンスなどのフォロー体制が

整備されている点や、お客様の要望に応じて柔軟にカスタマイズできる点なども、『ちず丸ASP』が広く受け入れられている大きな要因となっています。

◎独自取材による確かな情報提供  
検索サイト大手の「Yahoo! JAPAN」でも採用！『MAPPLEガイドデータ』

検索・ポータルサイトではユーザーの興味を喚起し、楽しませるために「見る」「食べる」「遊ぶ」「泊まる」を中心にレジャー情報が重要なコンテンツとして位置づけられています。また、イベントやスポットなど季節に応じた特集を配信して、ユーザーニーズに応える工夫も必要となっています。こうした重要なコンテンツ情報のひとつとし

て数多くの企業で採用されているのが、当社の『MAPPLEガイドデータ』です。

『MAPPLEガイドデータ』は、『まっがるマガジン』シリーズをはじめ、当社の出版物に掲載されている情報がベースとなっているので、信頼性の高い確かなデータとの評価を獲得しています。競争力の高い商品として人気ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」や「ぐるなび」における飲食店情報や「@nifty」のおでかけガイドなどでも採用されています。



「Yahoo! JAPAN」

「Yahoo! JAPAN」

「ぐるなび」

## トピックス

### 昭文社グループ「中期経営計画」の発表

#### 『変革への挑戦』を実践し、新たなステージへ！

当社は、これまで電子事業の拡大に向けて積極的な先行投資を実施してまいりました。今後はさらにその方針を推し進め、第50期（平成21年3月期）に始まる5年間で『情報提供会社』への変革の時期と位置づけ、出版社としての従来の業態にこだわることなく電子事業への大胆な転換を図ってまいります。こうした方針のもと、『変革への挑戦』を実践するべく中期経営計画を策定いたしました。

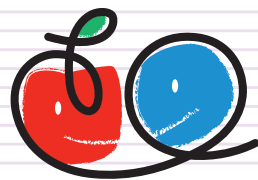
#### ■中期損益計画

(単位：百万円)

連結	50期 平成21年3月期	51期 平成22年3月期	52期 平成23年3月期	53期 平成24年3月期	54期 平成25年3月期
売上高	17,580	18,370	19,260	21,380	23,940
売上原価	12,937	12,670	13,140	13,640	14,670
売上総利益	4,643	5,700	6,120	7,740	9,270
販売管理費	5,193	5,110	5,210	5,390	5,740
営業利益	△550	590	910	2,350	3,530
経常利益	△630	560	870	2,310	3,490
当期利益	△670	340	400	1,610	2,020

### 新グループブランドロゴの制定

昭文社グループの力を集結させ、情報提供会社としての新しいステージに入ることを積極的にアピールするため、第50期を契機に、新たにグループブランドロゴを制定いたしました。



**MAPPLE**

デザインコンセプト「地球とりんごでひとを結ぶ」

新グループブランドロゴ“MAPPLE”では、初版「mapple」で“りんご”に込めた想いを受け継ぎつつ、新たに“地球”をデザインに加えることといたしました。

りんごは、“新鮮でよい品質であること”の象徴。

地球は、“感動を世界中に届けたいという想い”の象徴。

こうしたコンセプトのもとに制定した新グループブランドロゴを、第50期以降、昭文社グループの製品・サービスの象徴として広く活用し、新たな昭文社をアピールしてまいります。

## 配当に関するご案内

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、利益配分につきましては業績や経営環境を勘案しながらも、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の期末配当につきましては、厳しい業績ながらも、上記の方針を踏まえ、普通配当を前期同様1株につき20円とさせていただきます。

## 株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、100株以上ご所有（3月末現在）の株主様に、3,000円相当の当社商品を進呈しております。本年は道路地図の定番『スーパーマップル』シリーズより、株主様のお届出住所に該当する地域の製品をお送りいたします。

なお、一部地域にお住まいの株主様には他の地図をお届けすることがございますので、ご了承ください。発送は7月上旬を予定しております。



《株主優待の発送についてのお問い合わせ》  
株主優待事務局（平成20年9月末まで）  
0120-228-460  
（受付時間 9：00～17：00／土・日・祝日を除く）

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	15,226	18,786
固定資産	24,568	24,072
有形固定資産	10,608	11,001
建物及び構築物	3,737	3,932
土地	6,318	6,378
その他	552	689
無形固定資産	11,031	10,394
データベース	10,089	9,744
のれん	144	-
その他	797	649
投資その他の資産	2,927	2,676
投資有価証券	1,979	2,317
その他	1,097	588
貸倒引当金	△148	△229
資産合計	39,794	42,859
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,639	5,772
固定負債	1,186	951
負債合計	5,825	6,723
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	33,294	35,146
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	13,820	15,448
自己株式	△1,138	△913
評価・換算差額等	471	710
その他有価証券評価差額金	459	699
為替換算調整勘定	12	11
少数株主持分	202	278
純資産合計	33,968	36,135
負債純資産合計	39,794	42,859

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	17,623	18,031
売上原価	13,285	12,126
売上総利益	4,338	5,905
販売費及び一般管理費	5,381	4,842
営業利益又は営業損失(△)	△1,043	1,062
営業外収益	105	83
営業外費用	83	92
経常利益又は経常損失(△)	△1,022	1,053
特別利益	143	36
特別損失	170	208
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,048	881
法人税、住民税及び事業税	35	581
法人税等調整額	280	14
少数株主損失	70	46
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,294	332

## 連結株主資本等変動計算書 当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	9,903	10,708	15,448	△913	35,146	699	11	710	278	36,135
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△333		△333					△333
当期純損失			△1,294		△1,294					△1,294
自己株式の取得				△226	△226					△226
自己株式の処分			△0	1	1					1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△239	0	△238	△75	△314
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△1,627	△224	△1,852	△239	0	△238	△75	△2,166
平成20年3月31日 残高	9,903	10,708	13,820	△1,138	33,294	459	12	471	202	33,968

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62	472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,862	△2,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△632	△539
現金及び現金同等物の減少額	△3,558	△2,422
現金及び現金同等物の期首残高	8,645	11,067
現金及び現金同等物の期末残高	5,087	8,645

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。



# 財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	13,886	17,201
固定資産	24,844	24,605
有形固定資産	9,556	9,855
無形固定資産	10,432	10,241
投資その他の資産	4,855	4,509
資産合計	38,731	41,807
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,057	5,129
固定負債	722	428
負債合計	4,780	5,557
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	33,490	35,550
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
資本準備金	10,708	10,708
利益剰余金	14,016	15,851
利益準備金	244	244
その他利益剰余金	13,772	15,607
別途積立金	13,100	13,100
繰越利益剰余金	672	2,507
自己株式	△1,138	△913
評価・換算差額等	459	699
その他有価証券評価差額金	459	699
純資産合計	33,950	36,249
負債純資産合計	38,731	41,807

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	16,828	17,367
売上原価	12,834	11,723
売上総利益	3,993	5,643
販売費及び一般管理費	4,761	4,323
営業利益又は営業損失(△)	△768	1,320
営業外収益	106	76
営業外費用	34	38
経常利益又は経常損失(△)	△696	1,359
特別利益	102	36
特別損失	616	201
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△1,210	1,194
法人税、住民税及び事業税	31	577
法人税等調整額	259	16
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,501	600

## 株主資本等変動計算書 当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
平成19年3月31日 残高	9,903	10,708	10,708	244	13,100	2,507	15,851	△913	35,550	699	699	36,249
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△333	△333		△333			△333
当期純損失						△1,501	△1,501		△1,501			△1,501
自己株式の取得								△226	△226			△226
自己株式の処分						△0	△0	1	1			1
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										△239	△239	△239
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	△1,835	△1,835	△224	△2,059	△239	△239	△2,299
平成20年3月31日 残高	9,903	10,708	10,708	244	13,100	672	14,016	△1,138	33,490	459	459	33,950

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

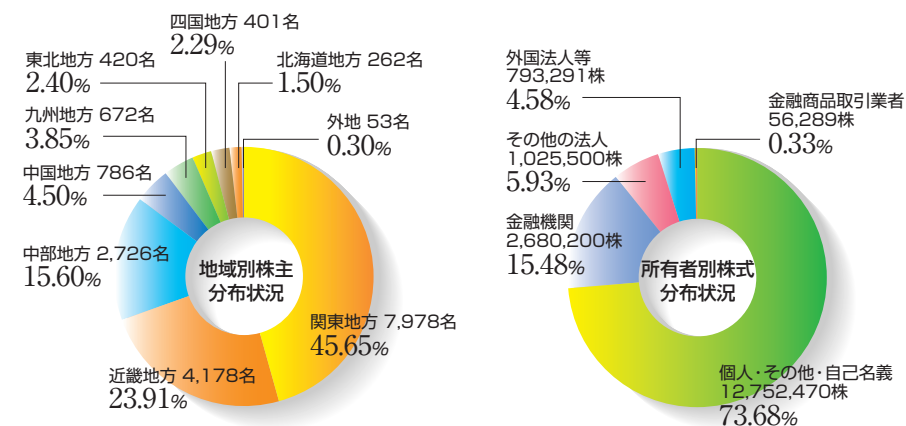
## 株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	17,476名

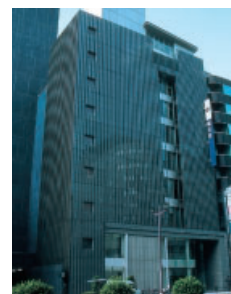
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
黒田敏夫	3,574 千株	21.80 %
黒田茂夫	1,699	10.36
株式会社昭文社	915	5.58
昭文社員持株会	753	4.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	738	4.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	692	4.22
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	254	1.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	246	1.50
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.09
株式会社エムティーアイ	174	1.06

(注) 1. 出資比率は自己株式(915,274株)を控除して計算しております。  
 2. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。  
 3. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。

## 株式の分布



## 会社概要 (平成20年3月31日現在)



- 会社名 株式会社 昭文社
- 創業 昭和35年5月
- 資本金 99億387万円
- 従業員数 487人
- 本社所在地 東京都千代田区麹町3-1
- 事業内容 各種地図、旅行ガイドブック、観光情報誌、趣味・実用書などの出版販売、及び地理情報システムならびに地図・ガイドのデジタルデータ販売

## 役員 (平成20年6月27日現在)

代表取締役社長	黒田茂夫
取締役	大野真哉
取締役	内田次郎
取締役	熊谷隆司
取締役	岡本芳信
常勤監査役	打出外禧
監査役	関聡介
監査役	桑野雄一郎

## 事業所 (平成20年4月1日現在)

本社	東京都千代田区
大阪支社	大阪市淀川区
制作本部	東京都江東区
札幌営業所	札幌市中央区
仙台営業所	仙台市若林区
浦和営業所	さいたま市南区
千葉営業所	千葉市中央区
立川営業所	東京都立川市
横浜営業所	横浜市西区
金沢営業所	石川県金沢市
名古屋営業所	名古屋市千種区
広島営業所	広島市中区
福岡営業所	福岡市中央区
東京商品センター	東京都足立区
大阪商品センター	大阪府摂津市
埼玉製本センター	埼玉県大里根町

## 関係会社

**日本コンピュータグラフィック株式会社**  
 千葉県市原市  
 事業内容 マッピング・コンテンツサービス事業  
 及びシステムソリューション事業

## 株式会社リビット

東京都千代田区  
 事業内容 ローカル広告メディア事業、ローカル広告企画・マーケティング事業及びWEB・モバイル広告メディア事業等

## キャンバスマップル株式会社

東京都渋谷区  
 事業内容 高精度3次元道路ネットワークデータの整備・構築、及び同データを活用した次世代ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売

## IR情報も充実のホームページ

昭文社のホームページは、株主・投資家の皆様に向けてIR情報を豊富に盛り込んでいます。ニュースリリースによる最新情報や財務情報もご覧になれます。また、年次報告書のバックナンバーや株価情報も盛り込んでいますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.mapple.co.jp/>

